

地域
×
デジタル

#地方における
#新たな働き方

ガイドブック



目次

地方での“新しい働き方”とは	2
ガイドブックの目的	3
地域活動とリスキングの両立	4
事例01 飯南町 (一社) 離島百貨店 × (株) LULL	6
事例02 竹原市 東成瀬テックソリューションズ(株)	14
今後の方向性	20

地方での“新しい働き方”とは

地方で働くことをあきらめていませんか？
このガイドブックは、

地方に住んで

農林水産業や小売・飲食業などその地域の特色ある仕事をつづけながら

IT分野の仕事と両立することで

年間平均所得400万円以上を目指すための

ITスキル習得と就業のしくみとそのサポート内容
を紹介するものです。

働き方イメージ

地域の民間企業、特定地域づくり事業協同組合などによる地域ぐるみのサポート

地域に居住しながら
ITの仕事と地域の仕事を両立



地方における“新しい働き方”のイメージ

地方に **住み続け**

または

地方に **移住し**

地域の特色ある仕事のデジタル化を担う

地域の特色ある仕事と都市圏（地域外）のIT企業でのリモートワークを両立する

地域の特色ある仕事とITスキル習得やITの仕事を両立する

ガイドブックの目的

経済産業省では、2022年度（令和4年度）から地域ぐるみで求人・採用、人材育成、キャリア支援等を行う総合的な取組の支援である「地域の人事部」を行っており、全国各地で地域ぐるみの求人・採用、人材育成が進んでいます。

このガイドブックでは、このような地域ぐるみの求人・採用、人材育成をさらに発展させ、地域の特色ある仕事とIT分野の仕事の両方に関わるという新しい働き方やそのためのサポートなどを紹介しています。

今後も、地方での働き方の選択肢がますます増えていくことを目指しており、希望どおりの働き方を叶えながら、安心して住み続けられるような地域の取組を応援していきます。

地方で住もう・働くことへの関心

都内IT企業
若手エンジニアの場合

東京都内でIT企業に勤務している若手エンジニアを対象にアンケート調査を実施したところ、地方への興味や移住の際に求めることが見えてきました。

Q 現在お住いの都県以外の地域で仕事を探す際に重視する要素は？

第1位
給与・報酬

Q 現在お住いの都県以外の地域で働くことに興味がありますか？

ある
58.4%

Q 地方に対して魅力を感じる点は？

第1位

住居費・生活コストを抑えられること

第2位

自然が豊かで落ち着いた生活環境

Q 地方に移住する場合その地域に求める要素は？

第1位

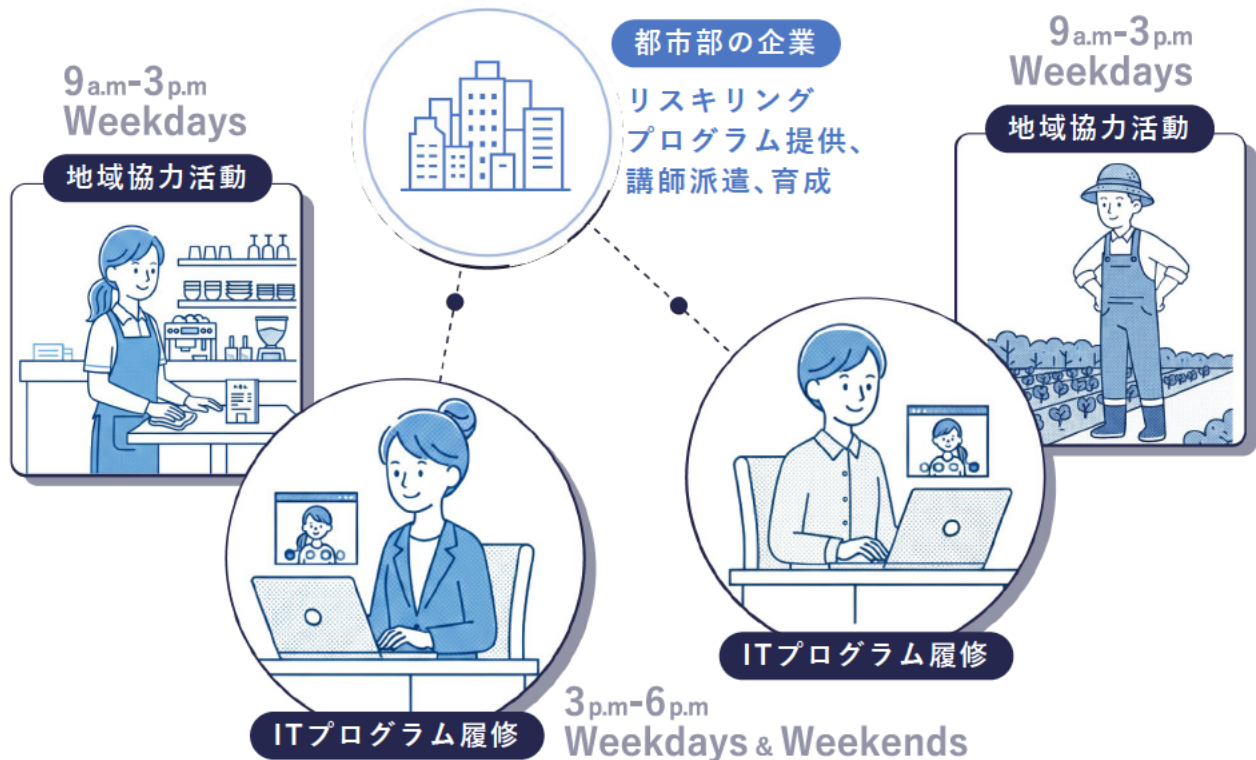
求める条件と合致する仕事があること

第2位

医療、居住環境、生活環境等の生活インフラが整っていること

地域活動と リスキリングの両立

地域協力活動とITプログラム履修の1日のスケジュールイメージ



地域おこし協力隊制度を活用し、協力隊員として地域に住みながら収入を得ることができます。

協力隊として地域での仕事をする時間に加え、ITスキルを学ぶ時間を確保します。

都市部のIT企業が提供する実践的なプログラムを履修できます。

地域おこし協力隊としての3年を経過した後も、デジタル人材として地域で活躍できるよう、多様なキャリアパスを準備しています。

地方で見つける、 新しい暮らし



自然に囲まれた
「余白」のあるまち

島根県
飯南町

飯南町は標高約450mの高原に広がる自然豊かな町です。

夏は涼しく、森林セラピーやアウトドアなど自然の中でリフレッシュできる体験が楽しめます。

春にはポピー、秋にはコスモスを見ることができ、四季折々の風景の中でゆったりとした時間を過ごせるのも魅力です。

飯南町では、出雲大社神楽殿の大しめ縄に代表される「しめ縄づくり」の技術と文化が传承されています。

飯南町では、ごめたで飯南町(飯南町定住支援センター)が設置されており、町への移住を検討している方を対象に、飯南町体験プログラムやお試し暮らし住宅、定住のための助成金制度といった手厚い支援が提供されています。

竹原市は瀬戸内海の豊かな自然と温暖な気候に恵まれています。

平安時代には荘園として栄え、その歴史的背景から安芸の小京都と呼ばれています。

江戸時代には製塩業や酒造業が盛んに行われ、町が飛躍的に発展しました。

たけはら町並み保存地区では、石畳の道と伝統的な建物が織りなす風情ある景観が広がります。

歴史ある町並みは、アニメ『たまゆら』の舞台としても知られ“聖地巡礼”として訪れる人も多いエリアです。



海・歴史とともに
生きるまち

広島県
竹原市



竹原市では、市民・企業・行政が一丸となり、若者や女性に選ばれるまちを創るための取組として、ALL竹原きらっと未来創造会議を運営しています。

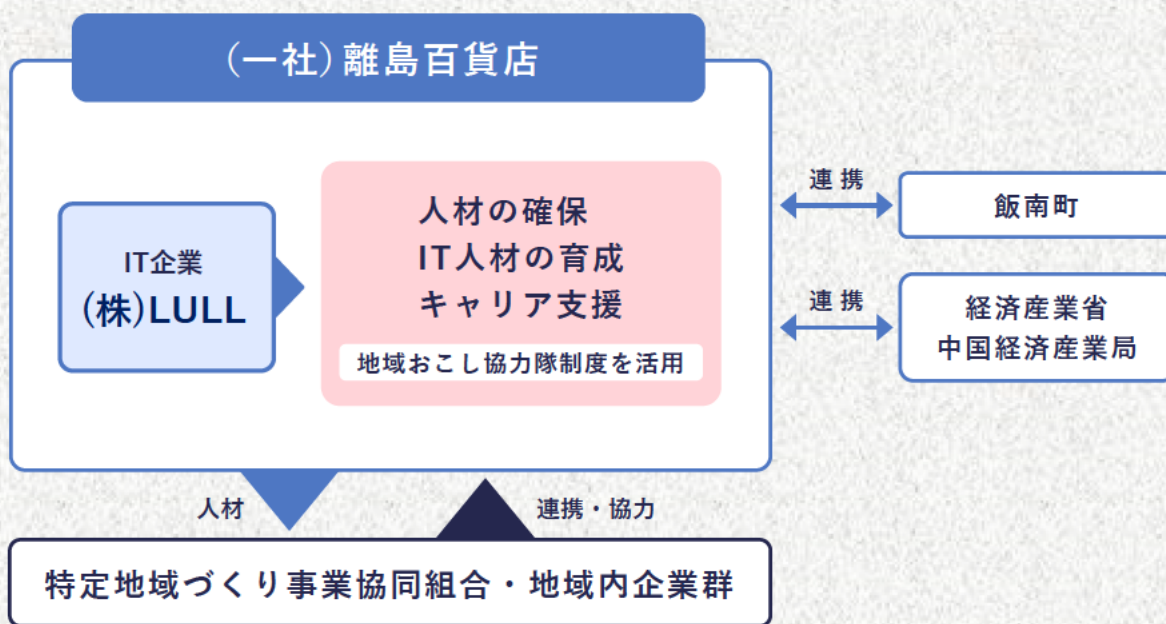
01 飯南町 (一社) 離島百貨店 × (株) LULL

飯南町におけるIT人材育成や支援のしくみの考え方

飯南町では一般社団法人離島百貨店、IT企業として株式会社LULLが参画し、ITスキル習得の支援やキャリア支援を担うモデルの検討を進めています。特定地域づくり事業協同組合制度※や地域内企業との連携や協力のもと、ITスキルを身につけ地域に住み続けられる働き方の実現を目指します。

※特定地域づくり事業協同組合制度：人口急減地域の事業者が協同組合を設立し、組合が雇用した職員（地域づくり人材）を組合員へ派遣する制度

飯南町における支援体制イメージ



離島百貨店は、離島を中心とした全国の市町村における効果的な地域連携の取組を横展開するため、関連企業と市町村とのマッチングをサポートしています

地域おこし協力隊
+ 都市部企業による
リスクリングに関する提言書

について

離島百貨店と「日本で最も美しい村」連合は「地方をステージに活躍したい、生活したい」と考える都市部の若者を地方社会が受け入れるための持続性のある仕組みづくりを検討してきました。次頁より紹介する働き方モデルは、この検討結果をまとめた提言書にもとづいています。

離島百貨店 による活動イメージ

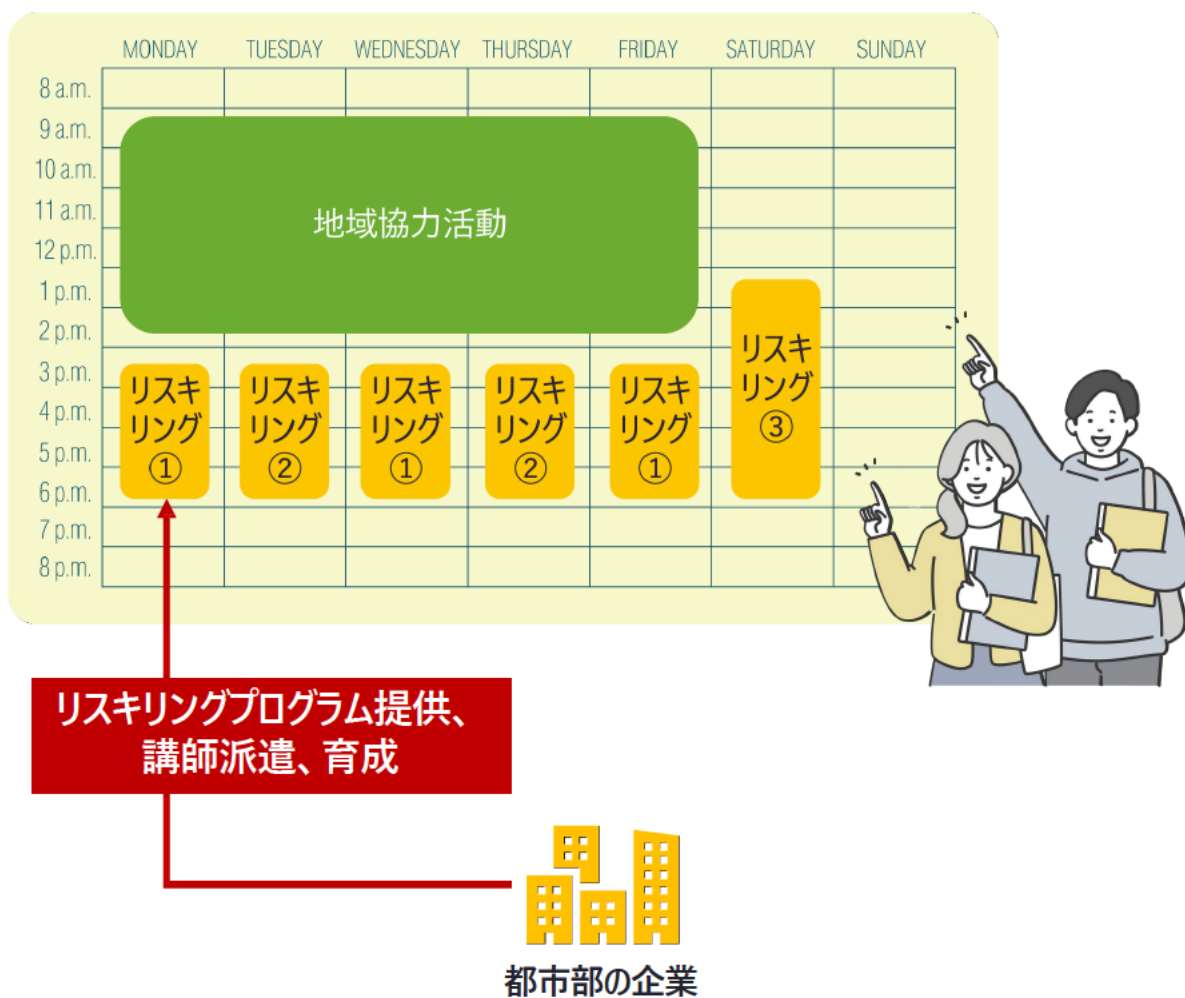
全ての過疎市町村で展開可能な地方創生モデルの構築を

地域おこし協力隊 + 都市部企業によるリスキリング

- ・ 企業が自社の業務に必要なスキルを身につけるためのプログラムを作成して提供
- ・ 地域おこし協力隊期間に地域の仕事 + 都市部の仕事のためのリスキリングを実施

地域おこし協力隊の一週間(イメージ)

- 地域協力活動(地域おこし協力協力隊としての活動)
- 定住に向け新たなスキルを身につけるための活動



離島百貨店 による活動イメージ

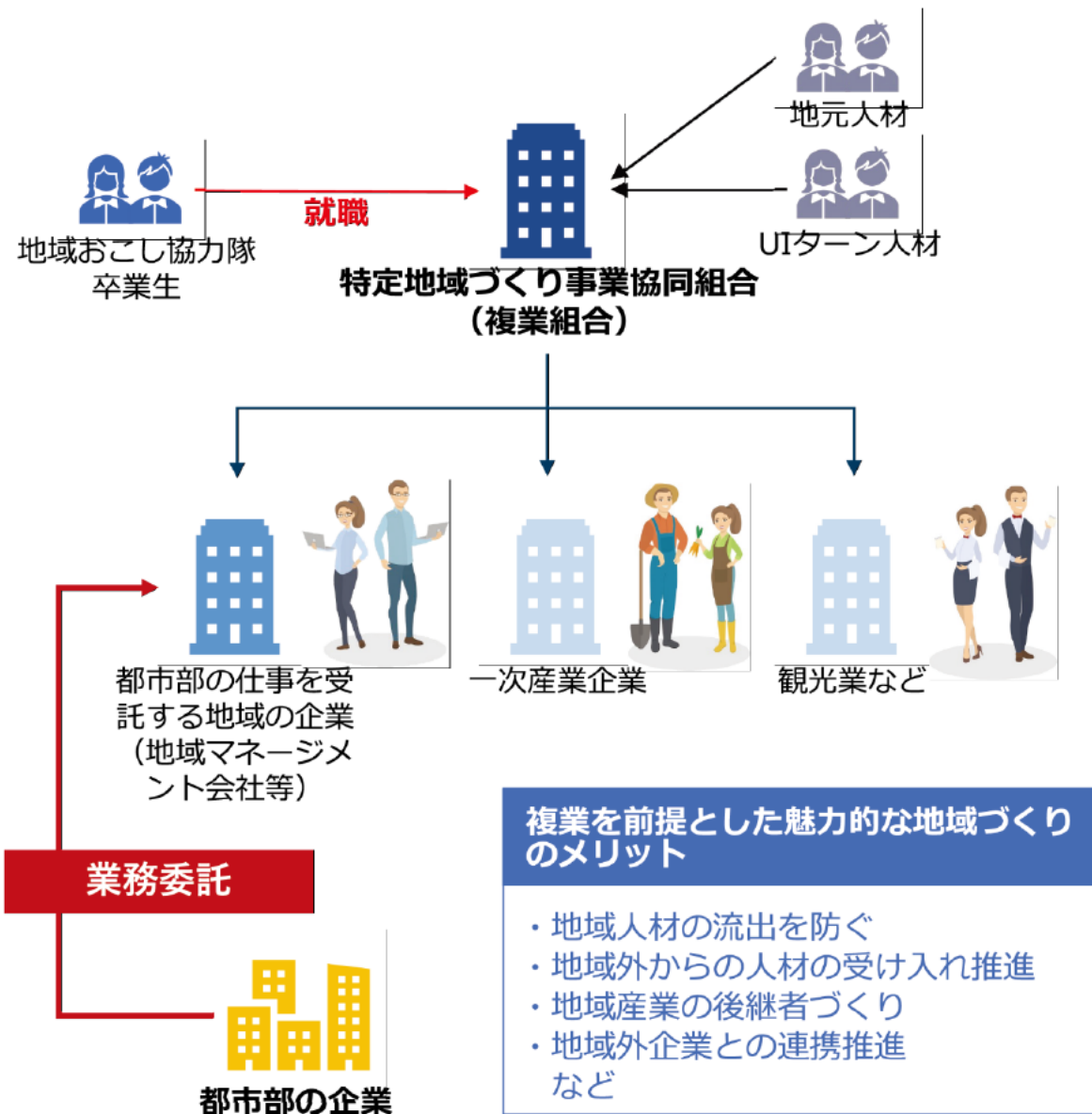
移住・定住だけでなく二地域居住・多拠点生活も当たり前の魅力的な社会に向けて
**都市部企業の仕事を組み込むことで、持続的な特定地域づくり
事業協同組合の活動を推進**

持続可能な地方創生にとって最も鍵となるのが「特定地域づくり事業協同組合」である。

通年雇用できない仕事の多い過疎地域において、いかに積極的に協同組合を活用し、地域全体の複業化を進めていくかがポイントとなる。

ただし絶対的な仕事不足により過疎地域が独自に進めるのは難しい。

都市部の企業を組み込むことで協同組合のスムーズな設立・運営が可能となり、「新しい・魅力的な就職先」となり得る。

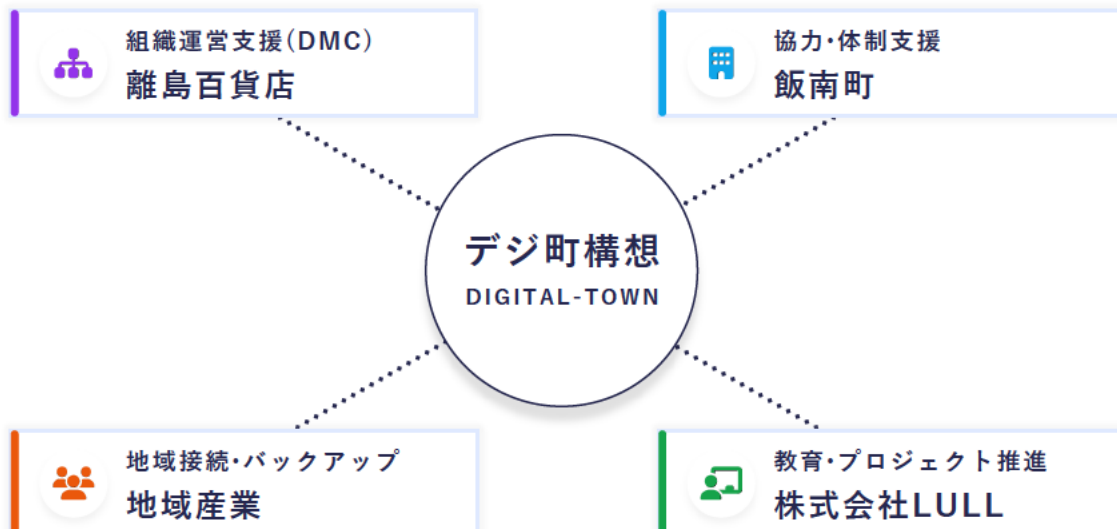


飯南町との取り組み構想

飯南町で目指すゴール



“デジ町(デジチョウ)”構想とは



地域おこし協力隊 × IT人材育成モデル



地域の困ったを受け、地域活動をしなが
ら地域をアップデートする

実装活動

目的:認知度向上



ホームページ
刷新

古くなったサイトを
スマホ対応・魅力的に
リニューアル

目的:認知活動



情報発信の
仕組み

SNS運用や
コンテンツ制作の
型をつくる

目的:生産性向上



社内管理
システム開発

アナログ業務を
デジタル化し
効率を上げる

目的:商品売る



ECサイト
立ち上げ

地元の特産品を
全国へ販売する
販路を開拓

目的:相談・解決



DX
相談窓口

住民や事業者の
「困った」に答える
ITのよろず相談所



町役場へのお願い

地域産業と協力隊の架け橋
地域産業との仕事連携支援

プロジェクトの発信協力
地域住民への受け入れ支援



地域企業へのお願い

協力隊活動への協力体制の構築
手伝ってほしい仕事のリストアップ

活動フィールドの提供



LULL・離島百貨店

LULL:教育プログラム提供・人材育成
離島百貨店:全体コーディネート

プロジェクト進行・品質管理

⚡ 「お金がなくてできない」を、実行力で突破する

地域活動中の動き | とにかく実践主義



行動指針
Mindset

1 地域産業を理解する



2 自ら手を動かす



3 アウトプットを出す



4 失敗も含めて"成果"と捉える



学びの設計
Learning

☀️ 日中 (ON)

地域プロジェクト実践
現場に出て課題解決・実装を行う

実践比率: 80%

🌙 オフ時間 (OFF)

座学・振り返り
知識の補完・メンターとの1on1

実践比率: 20%

3年後の到達イメージ

★ 協力隊卒業時の姿

✓ 地元産業に対して
企画提案・実行ができる

✓ 都市部の仕事を
一人称で受託できる

✓ 卒業後の働き方（本人の選択）


都市×地域
ハイブリッド

都市部の高単価案件
を受けながら、地域
の暮らしを楽しむ



地域メイン＋
都市案件

地域企業のDXを主軸
に、副業的に都市部の
案件もこなす



フリーランス

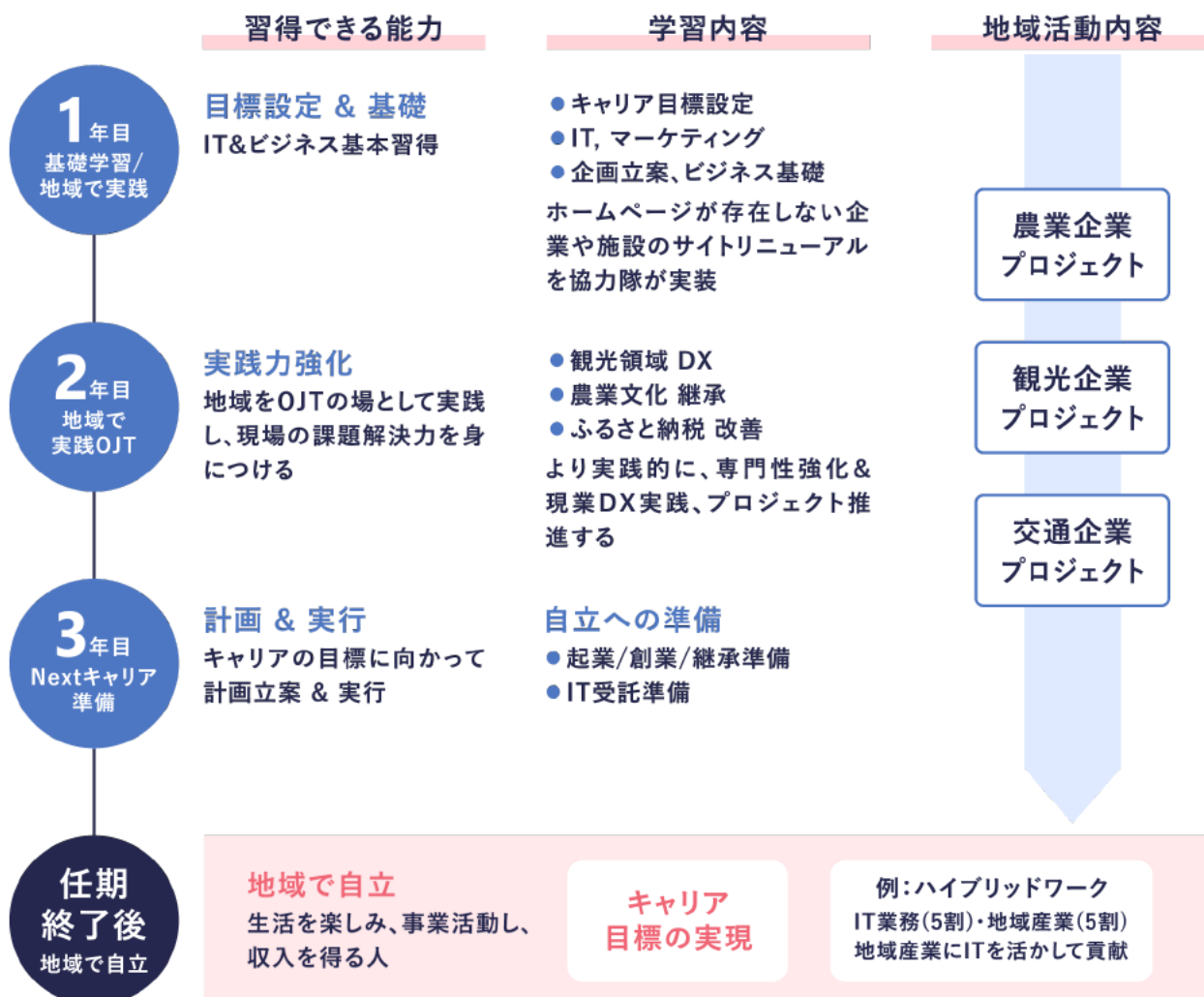
特定の組織に属さ
ず、スキルを武器に
自由な場所で働く



起業

地域課題を解決す
るサービスや会社
を自ら立ち上げる

人材育成フロー | 3年間の成長ステップ



参考

(株)LULLが取り組む地域づくり活動

株式会社LULLは、2025年10月28日に沖縄県国頭村と「地域活性化起業人制度による派遣に関する協定」を締結しました。協定期間は、2028年3月31日までで、総務省の地域活性化起業人制度を活用し、若手人材の実践機会をつくるべく、IT人材を国頭村に派遣しています。



株式会社LULLは、地域活性化起業人制度を活用して国頭村にIT人材を派遣し、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科が産学官連携による地域課題解決の拠点として整備を進めている、東部周遊拠点施設（道の駅「やんばるパイナップルの丘 安波」）を拠点とする地域振興プロジェクトに携わります。

国頭村に派遣されたIT人材は、主に以下のような業務に取り組みます。

- 東部周遊拠点施設（道の駅「やんばるパイナップルの丘 安波」）を拠点とした地域活性化の企画・運営
- 地域資源を活かした体験型・集客コンテンツの企画・WEBデザイン、およびシステム開発
- SNSやオンラインメディアを活用した情報発信およびプロモーション活動
- 周辺観光施設との連携による東側・北部エリアへの観光導線づくり
- 地元事業者や行政との協働による地域ブランディングの推進



国頭村に派遣された地域活性化起業人のコメント

国頭村があるやんばる地域は、手つかずの自然と独自の文化にあふれた魅力的な場所です。

私は現在、「道の駅 やんばるパイナップルの丘 安波」を主な拠点としています。ここを中心に、周辺の観光施設と連携しながら、地域資源を生かした体験コンテンツの企画やWEB制作、WEBデザイン、SNSを通じた発信などに取り組んでいます。

地元のみなさんと力を合わせて、国頭村ならではの魅力を発信し、持続的な地域の活性化につなげていきたいと考えています。

地域の担い手確保に向けたIT人材育成とキャリア形成の仕組みづくりについて飯南町の方々と意見交換を行いました。

若手人材獲得のための 仕組みづくり

地域の担い手となる若手人材の定着を望む声
が寄せられました

飯南町で育った学生が希望を持って地域に残り農業などの産業に従事できることが望ましい。



農業支援で、ドローンを使った農薬散布はできないだろうか。

地元の産業を担う若手人材獲得のために、飯南町内・島根県内の高校と連携し、学生を地域で採用・育成する仕組みづくりを検討してほしい。



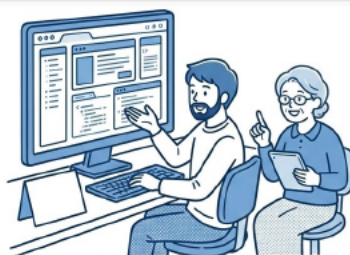
高齢者だけでは、事務作業のペーパーレス化やホームページの作成・運用まで手が回らない。IT化の支援をしてほしい。

地域活性化×IT人材育成の 実現に向けて

地域おこし協力隊の定着や年収増など新しい働き方に期待が集まりました

飯南町にどれだけの若者が来てくれるのか楽しみにしている。来てくれた一人ひとりに「ここで暮らしたい」「この町に貢献したい」と思ってもらえるような環境をつくっていききたい。

飯南町の通信環境に少し不便を感じることもあるが、この取組をきっかけに整備が進めばITを活用した新しい働き方の実現が一気に現実味を帯びるのではないかと期待している。



地域平均年収200万円増という目標は簡単ではないが、地域が一丸となって一歩ずつ実現に近づけていきたい。



事例

02

竹原市

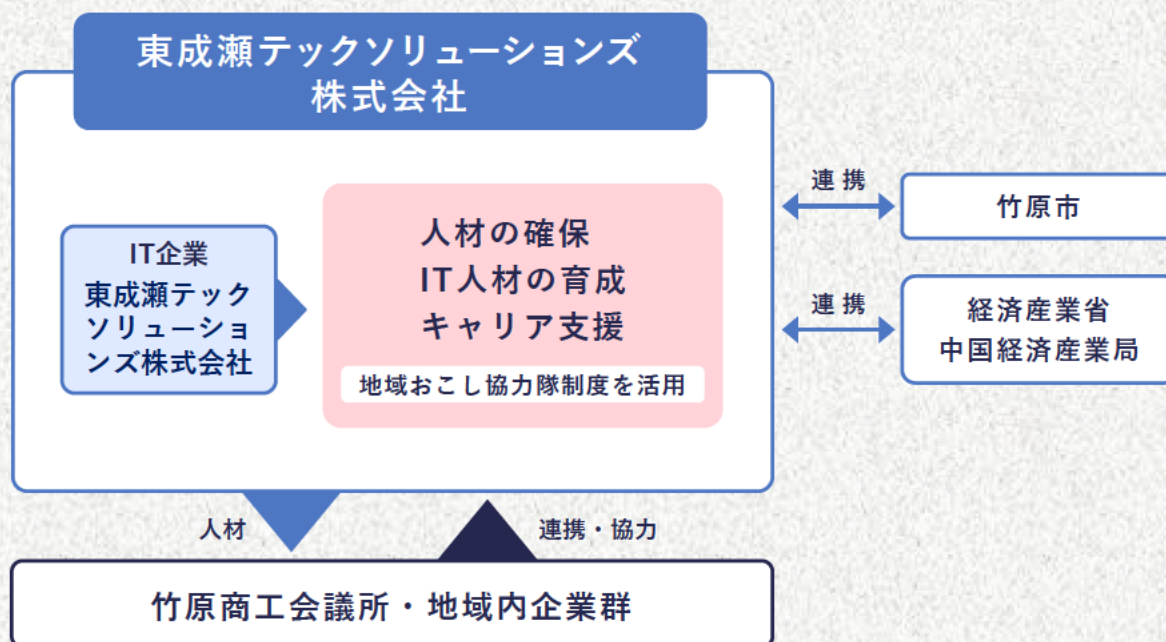
東成瀬テックソリューションズ株式会社

竹原市におけるIT人材育成や支援のしくみの考え方

竹原市では東成瀬テックソリューションズ株式会社が参画し、人材の確保とITスキル習得の支援及びキャリア支援を担うモデルの検討を進めています。

竹原商工会議所及び地域内企業などとの連携や協力のもと、希望者がITスキルを身につけ地域に在住し住み続けられる働き方の実現を目指します。

竹原市における支援体制イメージ



東成瀬テックソリューションズ株式会社 会社概要

35%女性

全体の35%女性
育児中のメンバー5名
村の出生2名

平均30歳

平均年齢30歳
新卒採用5名

全員が移住者

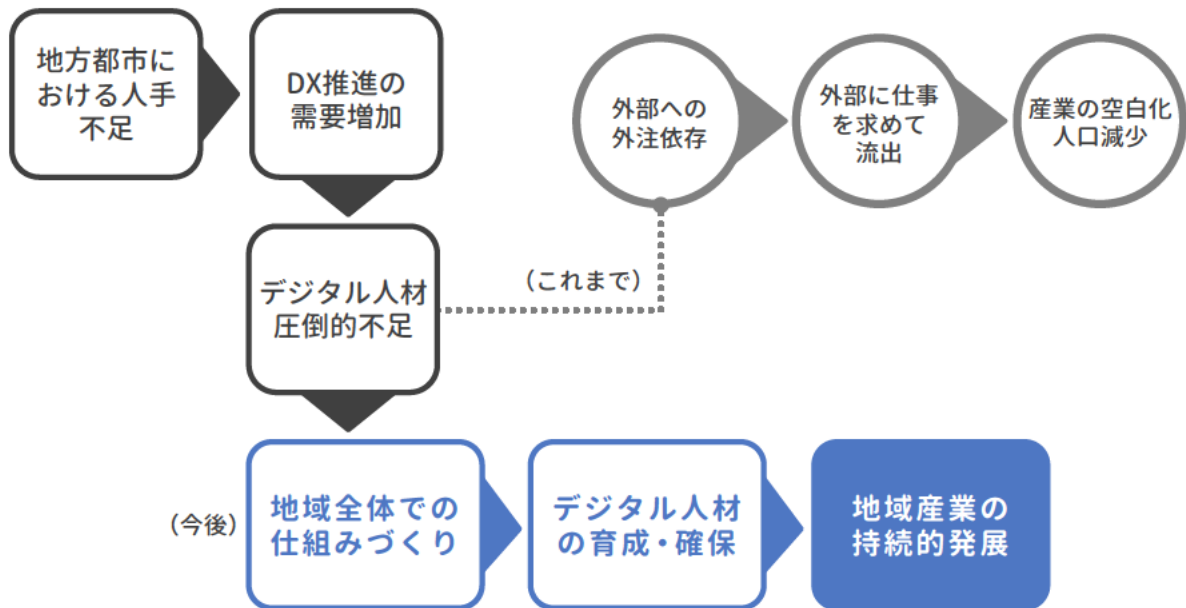
村の在住者ではなく、
全員が都市部からの
移住者



過疎地から日本を
盛り上げる組織

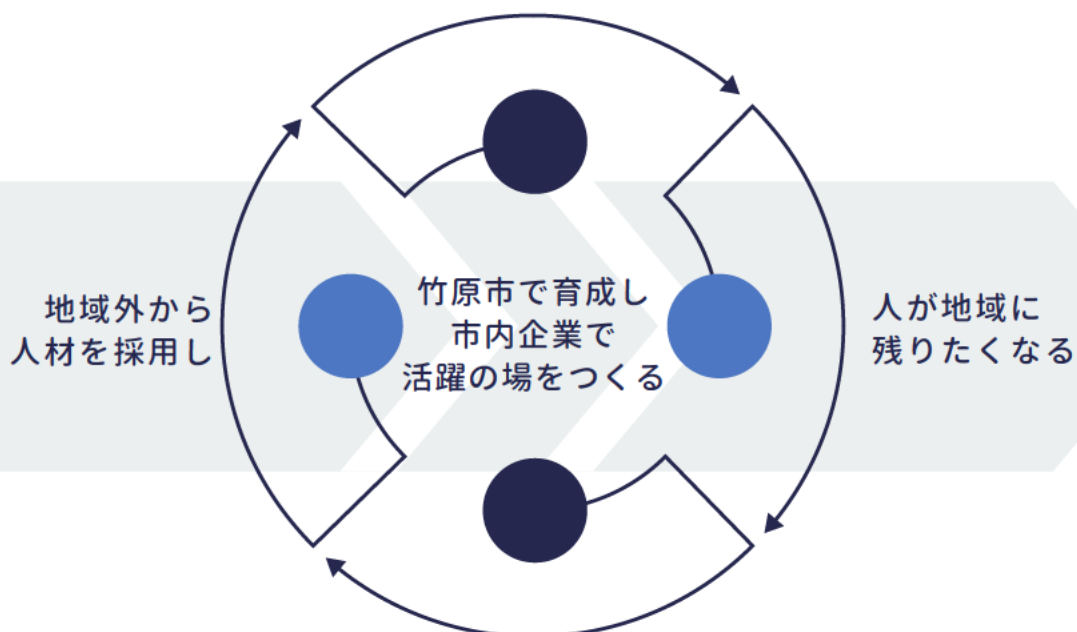
竹原市で起きていること、解決したいこと

竹原市では、DXに取り組みたい企業は増えている一方で、デジタル人材が不足しています。人材の採用も育成も、個社単独では実施が難しいのが現状で、地域全体での仕組みづくりが必要と考えます。



人材を採用し、育成する機能が必要

「採用 × 育成 × 企業実践」の三位一体モデルで、人材が地域に残る循環をつくります。



地域おこし協力隊任期中は充実したIT研修プログラムを提供

プログラミング基礎コース

カリキュラム	学習時間	学習概要
テクノロジー基礎	5	テクノロジー全般に関する基礎知識を学習します。
プログラミング基礎	30	Javaでのプログラミングを行うために基礎を学習し、プログラムを書く、プログラム実行ができることを目指します。
Java演習	40	Java 基礎の総合課題(じゃんけん課題)に取り組み、ソースコードの分析、メソッドの設計、コーディングができることを目指します。

プログラミング応用コース

カリキュラム	学習時間	学習概要
WEB基礎	3	WEBアプリケーションが、どのような仕組みで動作しているのかを学習します。
SQL初級	7.5	SQLの基礎的な操作を学び、データベースから必要なデータを取得する方法を学習します。
開発工程学習	3	開発工程の流れを学習し、各工程での作業のポイントや試験項目観点などを学習します。
Spring基礎	22.5	WEBアプリケーション開発のためのフレームワークSpringの学習を行います。最低限の機能をもったアプリケーションを開発しながら、Springフレームワークを使った開発の流れを学習します。
WEBアプリ演習	114	施設を予約するWEBアプリケーションを開発しながら、より実践的なアプリケーション開発の手法について学習します。

システムエンジニア養成

カリキュラム	学習時間	学習概要
開発実務学習	10	実際の開発業務に必要な業務知識や開発手法を学習します。
JUnit基礎	55	JUnitでのテスト自動化を学習し、カバレッジやモック、スタブなどの作成方法などの手法について学習します。
SQL中級	15	サブクエリを用いた複雑なデータ検索操作や条件付きでのデータ検索操作を学習することで、より実践的なデータ取得の手法を学習します。
WEBアプリ演習	145	施設を予約するWEBアプリケーションを開発しながら、リッチインターフェースを意識したアプリケーション開発の手法について学習し、実務さながらに実践します。

IT研修受講者は知見を活かしシステム開発をはじめ企業や自治体向けの案件に従事



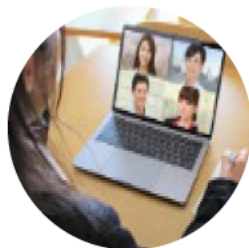
システム開発 ・SES案件

自治体向けの書類申請・受付業務を効率化するための業務支援システムの開発



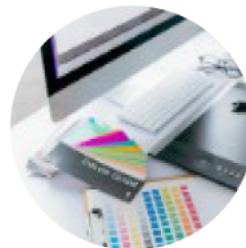
バックオフィス BPO案件

ふるさと納税代行事業のバックオフィス業務(主にコールセンター)と並行で業務効率化システムも開発するBPO



人材育成 ・講師案件

都市部IT企業の新卒システムエンジニア人材に対して研修講師・研修サポートを行う人材育成支援

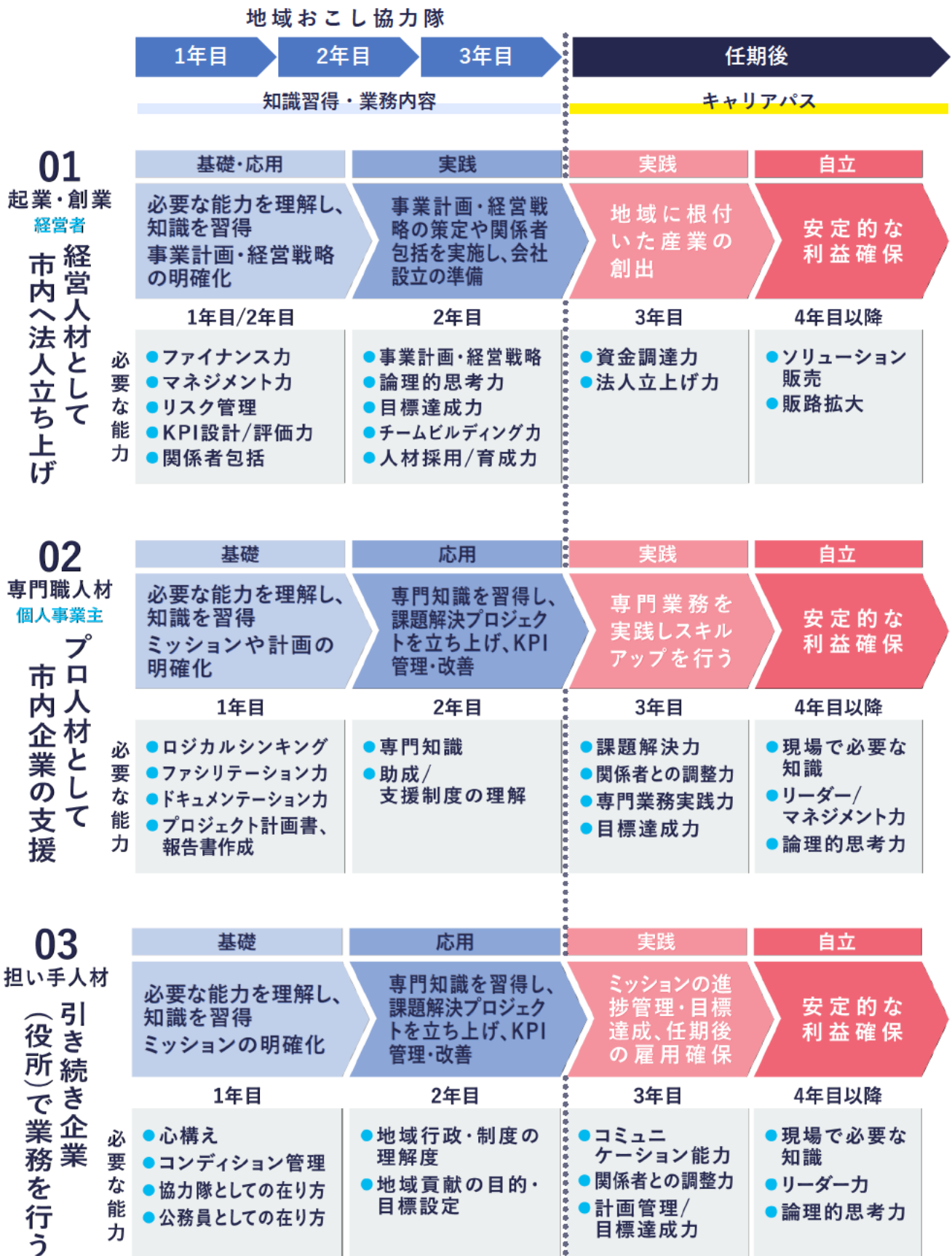


Web制作 ・SNS運用案件

地域の建設業や製造業に対して、採用や営業課題を解決するWeb制作・SNS運用代行

地域おこし協力隊キャリアイメージ

地域おこし協力隊が地域で価値を発揮するために、任期3年後は以下のようなキャリアパターンがあります。



人材が地域に根付くケース

「手に職を付けたい」という思いで移住をした人材が、地域産業に対して価値提供を行う中で、転籍や創業を進んで選ぶケースが増えています。



創業

32歳/男性
前職：出版社
出身：東京都

Before&入社動機

会社創業に向け、自身の挑戦のために移住

サロン経営の夢を持ちながらも具体的な道筋が見えない中、仕事をしながら経営ノウハウを習得できる環境に魅力を感じ入社。

在籍期間

Webライターとしてリモートワーク

Webライターとして研修を積み、上場企業のオウンドメディアライティング案件(月40万円)をリモートで受注。そのほかにもメディア立上などに関わる。

After

化粧水をリリース。創業に向けて準備中

創業のタネを考える中でスキンケアへの興味を持つ。地域の温泉水を活用した商品開発に至る。現在単月黒字を達成し、協力隊任期後1年以内の創業に向けて準備中。



転籍

35歳/男性
前職：製薬会社
出身：埼玉県

Before&入社動機

未経験からIT技術を習得するために移住

前職では製薬会社にて品質管理を担当。未経験からIT研修を受けられる環境に魅力を感じ、農業×ITの実現を目指してIT技術を習得するため入社。

在籍期間

SE研修後、しいたけ栽培の自動化に挑戦

エンジニアの研修後、しいたけ農家との出会いからしいたけに没頭。収穫のためのサイズ測定などの自動化にチャレンジする。

After

村の農業の活性化に向けて、転籍

協力隊の任期終了に伴い、東成瀬村の人手不足解消としいたけ栽培の継続を目的に共同組合へ転籍。特定地域づくり事業協同組合で村内の事業を兼務している。



転籍

26歳/女性
前職：不動産
出身：岩手県

Before&入社動機

新たな出会いとスキルアップのために移住

不動産業界からキャリアを見直す中で、地方で新たに面白いことに挑戦したいという思いと、関心を寄せていた農業のスマート化に惹かれ入社。

在籍期間

ITスキルを生かし、農林畜産業の課題解決

エンジニア研修を終了後、スマート農業実現に向けて村の農林畜産業部門に携わる。稲作やはちみつ栽培などを通して、東成瀬村の特産品開発を推進する。

After

村の特産品となる日本酒を製造

東成瀬村で自ら育てた稲を使い日本酒を造る。酒蔵の業務委託を受けながら、酒造りを学ぶ。魅力に惹かれ、日本酒を極めるべく酒蔵に転籍。今後、担い手となるべく経験を重ねていく。

地域ぐるみでIT人材育成から就労までの仕組みについて竹原市の企業や住民の方々と意見交換を行いました。

IT人材に期待すること

企業活動だけでなく教育の現場においてもIT人材の活躍が期待されています

顧客管理や案件管理など、社内業務を効率化するツールの導入を支援してほしい。

教育現場で子どもたちに対してIT教育を行ってほしい。



ITに関する地域のお困りごとを解決する仕組み

地域が抱える課題に寄り添う具体的な仕組みとしてIT人材バンクやマッチングサービスなどが挙げられました

繁忙期等の必要なときに限定して、IT人材に仕事を依頼できる仕組みがあるとよい。

地域企業に共通するIT課題を、業務委託で専門的に解決する「地域のIT部門」のような仕組みがほしい。



人材呼び込みの方向性

進学・就職・結婚などライフステージの変化のタイミングで竹原市が選ばれる環境づくりが求められています

地域の学生が市内で成長するか、市外で経験やスキルを積み、Uターンで竹原市に戻ってくる人材循環の形成を目指したい。

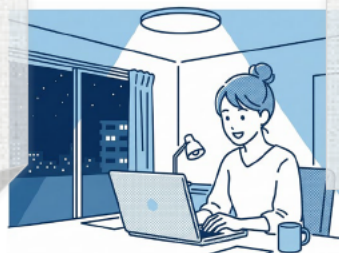
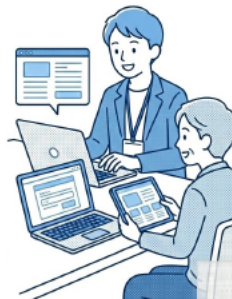
家庭のある女性の働き方の選択肢として、場所と時間を選ばない働き方ができるとよい。

地域おこし協力隊制度活用について

地域おこし協力隊任期満了後の地域への定着が重視されています

IT人材の受け皿づくりには、自治体と実施機関の連携が欠かせない。

地域おこし協力隊任期満了後に隊員が地域に定着するためには、任期中に地域との関係づくりを進めることが重要である。



今後の方向性

働きやすい環境づくりに向けて

地方に居住しながら、ITの仕事やITを活用した多様な働き方が選択できるよう、地域ぐるみの活動を応援していきます。



今後の実践イメージ・ビジョン

地方に居住しながら
ITの仕事と地域の仕事を両立

が可能になると…?

地元で住み続けることも、地方に移住することも、仕事をきっかけに選べる社会に。

地方に住むからこそ見える課題に向き合うことで、最先端デジタル・科学技術×地方創生で新しい挑戦が可能に。地方は、新しい事業を生み出すフィールドとなる。

地方にいてもしっかり稼ぎ、
場所にとらわれず自由に働ける。
そんな選択が当たり前になることを目指します。



相談先/
問い合わせ先

中国経済産業局 総務企画部 企画調査課

〒730-8531

広島市中区上八丁堀6番30号

TEL:082-224-5626 HP:<https://www.chugoku.meti.go.jp>